

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 4月 1日

事業所名: 児童デイサービス ていんとうんてん

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	療育、生活、静養など、活動内容に合わせて対応しています。	
	2	職員の配置数は適切である	7	1	1	適切に配置できるよう調整しています。	退職など職員が減る場合は、ハローワークだけでなく民間求人紙なども活用しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2	1	段差などは解消出来るよう工夫しています。	段差場所や不適切な設備がもし有れば、職員間で対策を適宜検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3	0	改善が必要な時は、その都度ミーティングを行うようにしています。	PDCAサイクルを上手く活用して業務改善が出来るよう今後も取り組んでいきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	2	0	モニタリング時に保護者様から意向確認を行うようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	6	現在、第三者による外部評価制度は導入していません。	第三者による外部評価制度導入出来るか本社と検討してみます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	0		適応行動に特化したアセスメントを行い、状況を把握出来るようにします。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	0	チームで活動プログラムを作っています。	チームだけでなく、サービス等利用計画など計画相談支援とも連携しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	2	0	季節に合った行事など、工夫しています。	コロナ対策を適切に行いながら季節に合った行事、地域との交流が図ることが出来るプログラムを検討します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	4	1	平日、休日に応じて支援しています。	休日は、午前中から受け入れる、ドライブなど外出する等、必要に応じて支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	0	朝礼で確認しています。	毎朝、利用児童については、注意点や連絡事項を担当者毎に確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	0	帰る前に振り返りで確認しています。	パート職員も含めてその日、行われた支援内容を振り返りをしています。気になったことは、翌日の朝礼で報告するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	毎日、サービス記録を付けています。	日々の活動、サービス記録を毎日付けています。アセスメントの際、記録が活用できるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	3	0	管理者が会議に参加しています。	管理者が中心となっていますが、担当者も必要に応じてモニタリング時には、情報提供をしています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	0	0	学校とも情報共有を密に行うようにしています。	学校とは、主に送迎時に、先生とコミュニケーションを取っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	2	0	医療的ケアが必要かどうか確認しています。	受け入れる場合は、主治医、ご家族に確認してから受け入れを行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	1	0	就学前に確認するようにしています。	利用前に、児童発達支援事業所、ご家族からお話を聞いて対応出来るかどうか確認しています。、
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	7	0	情報提供を行っています。	相談支援事業所を中心に情報を提供するようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	7	0	専門機関と連携しています。	研修は、コロナで研修そのものが現在中止など出来なくなっていますが、社内研修や勉強会などで補うようにしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	7	地域交流は現在検討中です。	コロナが増えている現状では、地域交流は厳しいですが、落ち着いてきたら交流を再開したいです。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5	4		参加しています。	今後も、情報共有など連携して参ります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1	0	お子さまの課題など日ごろから確認するようにしています。	普段からご家族とコミュニケーションが密に取れるよう工夫します。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	4	ペアレントトレーニングはまだ導入していません。	職員一人一人がペアレントトレーニング理解出来るように勉強会などを実施したいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1	0	主に契約時に説明させて頂いております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	0	子育てについて相談がありましたら、相談員と連携して対応します。	休んでいる利用者に関しては、在宅支援も活用して対応出来るようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	6	保護者会は現在行っていません。	コロナが増えている現状では、保護者同士の交流会は行っていません。コロナが落ち着いたら、保護者同士が交流出来るイベントなどを実施したいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	0	毎月情報を発信しています。	通信を活用して毎月情報を発信しています。充実した内容を出来るように今後も工夫して発信して参ります。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	0	意思疎通出来るよう考慮しています。	今後も、相談員と連携して、配慮出来るよう努めます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	6	現在、地域住民の招待は行っていません。	コロナが増えている現状では、地域の方を招待できない状況ですが、コロナが落ち着いてきたら地域と交流を行いたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2	0	マニュアルは常備しています。	各マニュアルを職員一同周知徹底出来るように定期的に確認します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2	3		避難訓練の実施だけでは無く、災害訓練も取り入れます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2	0		毎年、虐待に関する勉強会を行います。継続します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	0	ていんとうてんでは、身体拘束を禁止にしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	0	受け入れ時にアレルギー確認をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0	毎月、ヒヤリハットを実施しています。	行動する前に、危険予知が行えるよう取り入れています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表日:令和 4年 4月 1日

事業所名:児童デイサービス ていんとうんてん

保護者等数(児童数)

回収 12 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	3	0	確保されていると思いますが、良く分かりません。	日々の活動に支障が出ないようスペースを確保しながら支援を行ってまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2	1	適切にやってもらっていると思っています。	配置、役割や専門性について適切に対応しております。気になりましたら、お気軽にご質問下さい。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	4	0	車イス、ハギーなど対応出来ていますので、大丈夫と思っています。	段差などがある場所は、スロープを設置するなど工夫しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10	1	1	どのように分析していますか？	主治医、相談員などと連携を図っています。また、保護者様から定期的にアセスメントすることで、情報収集、分析をさせて頂いています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	2	1	どのように工夫していますか？	季節毎行事を計画したり、お誕生会など施設行事など固定化しないよう取り組んでいます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	3	コロナが増えているので、交流はやむを得ないと思う。	コロナが増えている中では、イベントや地域交流を控えています。落ち着いたら、再開します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1	1		支援の内容、利用者負担について分からない事が有りましたら、お気軽に職員に聞いて下さい。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	2	面談は行ってますか？	コロナが増えている現在、面談を控させて頂いております。在宅支援など状況に応じて対応します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	4	保護者会って何ですか？	保護者会は現在設けておりません。イベントなど保護者同士の交流が出来る場合は、コロナが落ち着きましたら再開したいと思っています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	4	1		要望、苦情が有りましたら、教えて下さい。迅速かつ適切に対応出来るよう努力します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2	1		お便り帳だけでなく、LINEなどいろんなツールを活用して情報共有出来るよう工夫しています。
14 個人情報に十分注意しているか	12	0	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	0		各種マニュアルを設定していますが、保護者様だけでなく、職員間でも周知出来るようにします。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	6	1	必要な訓練をしていますか？	避難訓練だけではなく災害に対しても備えられるよう災害計画、訓練も行っていきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	10	1	1		支援に満足して頂けるよう、主治医、相談員からもアドバイスを頂きながら頑張ります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。